

白井市 保育の質の向上に 向けた取組について

～子ども、保護者、保育士が行きたいと思える保育園を目指して～

白井市が推進する2つの取組み

公立保育所の役割及び体制検討委員会

- ・社会情勢の変化等を踏まえ、市全体の保育の質を向上させるため、公立保育所の課題を解決するとともに、これからの役割について検討する。
- ・新たな役割を将来に渡って担えるよう持続可能な体制についても検討する。

保育士の「魅力ある働き方」の推進の取組み

- ・保育士の不安解消、負担軽減、スキルアップなどに関する取り組みを行うことにより、保育の質の大きな要因となる保育士がいきいきと働ける職場づくりを推進する。
- ・保育士自らが取組を提案できる仕組みを構築する。
- ・市内全園の共通の取組みとして、協働で検討、推進する。

情報共有・連携

それぞれの取組みの目的

公立保育所の役割及び体制検討委員会

公立保育所の役割、機能を整理することで、公立の強み、私立の強みをそれぞれ活かした持続可能な体制を作ることにより、保育サービスの機能向上や保育の質の向上を目指す。

役割分担による保育の質の向上

保育士の「魅力ある働き方」の推進の取組み

公立・私立が連携して行う市内保育所等全体の取組みにより保育の質を向上させるとともに、保育士や子ども、保護者に選ばれる持続可能な保育園づくりを目指す。

公立・私立協働の取組による保育の質の向上

子ども、保護者、保育士が行きたいと 思える保育園を目指して

～白井市 保育士の「魅力ある働き方」推進の取組み～

白井市では、市内の保育施設が、
子ども、保護者、保育士それぞれにとって
「行きたい！」

と思える場所であってほしいという考えから、
公立・私立の垣根を越えて、市内の保育施設全園
協働で、「保育士の「魅力ある働き方」の推進」
という取り組みをおこなっています。

取組みの目的



保育士にとって魅力ある働き方ができる体制づくりを公立・私立連携で推進し、保育士の安定的な確保や保育士のスキルアップと、保育の質の向上を図り、子ども・保護者・保育士、みんなから選ばれる保育所等になることを目指します。

これまでの取組み

保育士の不安解消

- 不適切保育の未然防止
- 保護者との相互理解の促進
- インクルーシブ保育の推進

保育士の負担軽減

- 労働環境の整備
(ハード面)
- 労働環境の整備
(ソフト面)

保育士のスキルアップ

- 安全・安心な保育園の維持・向上

白井市では、保育士が働きやすい環境を作るという視点から、様々な取組みを行っています。

保育士が中心となり、公立・私立協働で取組ごとにチームを作り、取組みを推進しています。

これからの取組みを検討する仕組み



副園長クラス



中堅職員クラス



初任者クラス

今後は、より現場の保育士の「思い」や「考え」を取組みに反映させるため、保育士自らが取組みを提案できる仕組みづくりを目指します。

市内の各園から数名ずつの保育士が集まって、経験年数や職域が同じくらいのメンバーでグループをつくり、保育現場の課題や困りごとについて話し合います。

保育士交流会

保育士間の
交流



相談

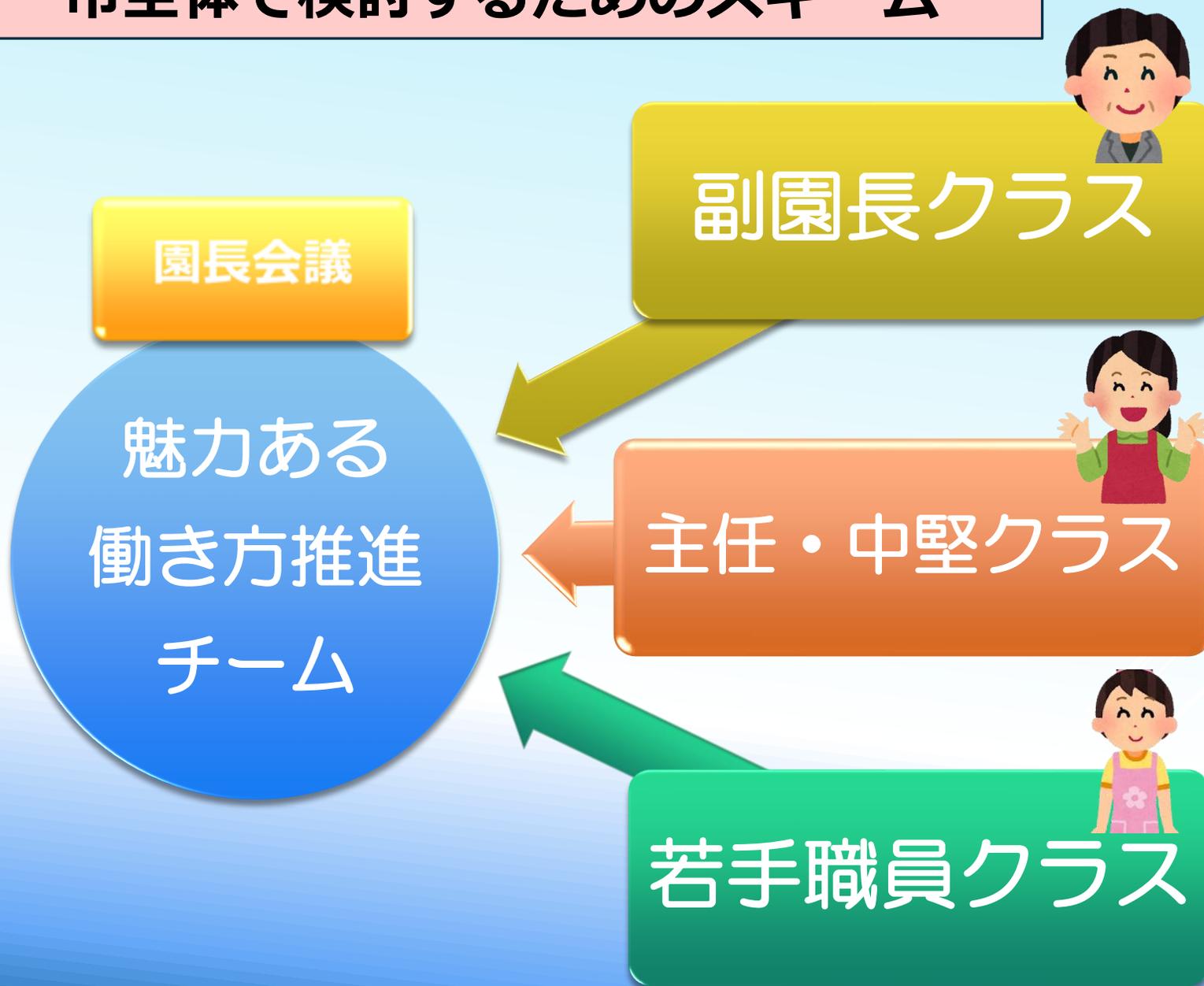


情報交換



保育現場の課題を解決するための
取組みを提案

市全体で検討するためのスキーム



各グループは、同世代の保育士間の交流や意見交換を通じて、現場の課題を解決するための取組みや、魅力ある働き方や保育の質の向上につながる取組みについて、検討・提案を行います。

各グループから提案された取組みは、推進チームや園長会議に集約されます。

「現場ファースト」の仕組みづくり



推進チームは、各グループから挙げられた課題や取組みについて検討を行い、市全体での具体的な取組みに繋がったり、集約した情報を各園にフィードバックします。

トップダウンによる課題解決の指示ではなく、保育士自身が現場で感じていること、必要と思うことを、市全体の取組みにつなげていきます。

「保育士交流会」の目的と期待できる効果

保育士が感じている現場の課題や困りごと、保育の質の向上のために必要と考える取組み等を吸い上げて、市全体の取組みに繋げる仕組みを作る。

職位ごとのグループで話し合うことにより、各職位ならではの課題意識や考え方を、全体で把握・共有できる。

保育士自らが、市全体の取組みについての検討・提案を行うことにより、保育士自身の考え方が広がり、スキルアップやモチベーション向上につながる。

保育士同士の交流を通じて、園を超えての情報交換や、保育上の困りごとの相談等を行う機会を行うための繋がりを作れる。

取組みが目指すもの

職位ごとのグループで話し合うことにより、各階層ならではの課題意識や考え方が見えてくる。

各職位の課題や考えを推進チームが集約して、市内保育園全体にフィードバックする。

各園でフィードバックされた情報を共有してもらい、風通しの良い職場づくりや、部門間、階層ごとの連携の向上に繋げていく。

保育の質の向上

白井市では、保育士自らの

「こんな職場にしたい。」

「こんな保育をしていきたい。」

という、「思い」を大事にしたいと考えています。
その「思い」が、子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる保育園を作ることにつながると考えているからです。

「子どもが笑顔で過ごせる保育園」

「保育士が『働きたい』と思える保育園」

「保護者が安心して子どもを預けられる保育園」

市内の全ての保育施設が、こんな施設になることを目指して、白井市では今後も公立・私立の垣根を超えた取組みを続けていきます。